

阪急大阪梅田駅とJR大阪駅を結ぶ横断歩道。JR大阪駅側から阪急大阪梅田駅側に向かう、常に人通りの多い動線上に放映される大型のデジタルサイネージです！阪急のランドマーク的な媒体です。



■媒体概要【高輝度フルカラーLEDディスプレイ】

サイズ・数	設定枠数			期間	放映開始日	放映時間
	枠数	秒/枠	ロール			
約275インチ×1面	17枠/24枠	15秒	6分	1週間	月曜日	6:00 ~ 24:00 (18時間)

※広告枠は、**24枠中の17枠**となっております。(残り7枠は、公共情報枠としてニュース・天気予報や行政情報などが放映されます)

■放映料金

放映形態	設定			期間	枠数	放映料金(税別)	割引料金	
	秒/枠	販売枠	ロール				対象業種	放映料金(税別)
ロール放映	15秒	17/24枠	6分	1週間	1枠	150,000円	①美術館・博物館 ②学校・専門学校 ③官公庁・自体	120,000円
				4週間	1枠	480,000円		380,000円
				26週間	1枠	2,800,000円		2,250,000円
				52週間	1枠	5,000,000円		4,000,000円
スポット放映				10週間	10枠	1,050,000円		放映は任意。1週最大3枠まで。

※放映回数は緊急放映・支障を含め90%稼働時の保証回数となっております。

※放映意匠は、18時間/日×申込放映時間、同一意匠が基本。

※特殊放映は、別途料金が必要です。

※原則、枠順番指定は不可。

※電鉄のクライアント・デザイン審査がございます。

各素材の切替は、フェード切替となります。

申込受付日

ロール 放映月の6ヶ月前の第1営業日に受付

スポット 放映月の3ヶ月前の第1営業日に受付

●税別料金です。消費税は別途加算させていただきます。

●デザイン料・データ作成料は、別途見積り致します。

■セット放映料金【エントランスビジョン+グランドビジョン】

媒体	枠数	期間	放映料金 (税別)
梅田エントランスビジョン	1枠 (15秒/6分ロール)	1週間	300,000円
梅田グランドビジョン	1枠 (15秒/6分ロール)	1週間	

- ※セットでお申込み頂きますと、【エントランスビジョン】150,000円→120,000円、【グランドビジョン】220,000円→180,000円でご利用頂けます。
- ※同一期間、同一広告内容に限ります。
- ※放映回数は、緊急放映・支障を含め90%稼働時の保証回数となっております。

○申込受付日

- ・放映月の3ヶ月前の第1営業日より随時受付

○放映プログラム内訳

- ・基本は、以下のプログラム内容で放映されます。
- ・各素材の切替は、フェード切替となります。
- ・お申込みの枠数、秒数の状況によりましては、公共枠の放映順が変更になる場合がございます。
- ・お申込枠の順番指定、枠指定はできませんので、予めご了承お願い致します。



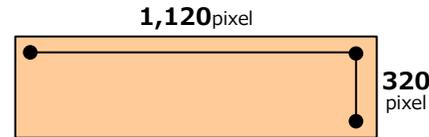
放映素材の入稿について

- ・放映素材の入稿は、放映開始日より6営業日前にお願い致します。
- ・全ての素材につきまして、入稿日までに電鉄の意匠審査が必要です。
- ・放映開始日の14営業日前までに、審査用データをお渡し下さい。
- ・事前に電鉄のクライアント審査がございます。

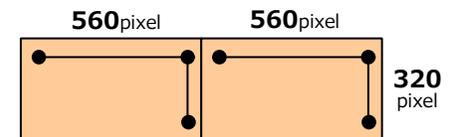
※2024年4月～入稿仕様が変更になっております。ご注意ください。

●入稿仕様

全面表示の場合



中央分割表示の場合



※WMV8・WMV7不可

●動画コンテンツ (MPEG4 AVC/H.264・WMV9)

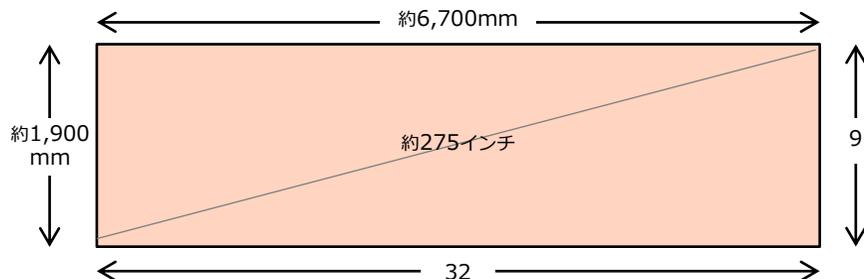
設定項目	内容
解像度 (pixel)	アスペクト比 【32 : 9】 W1,120×H320 【16 : 9】 W560×H320
拡張子 (ファイル形式)	.mp4 .wmv
映像エンコードビットレート	CBR (固定ビットレート) 4Mbps~10Mbps
プロファイルレベル	—
フレームレート	29.97fps、30fps
ファイルサイズ	200MBまで

●静止画コンテンツ

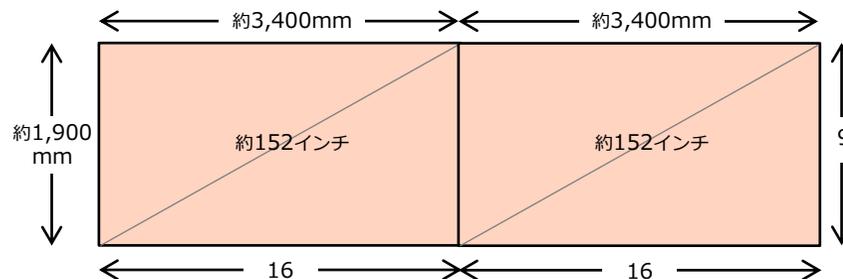
設定項目	内容
解像度 (pixel)	アスペクト比 【32 : 9】 W1,120×H320 【16 : 9】 W560×H320
拡張子 (ファイル形式)	.jpg .png .bmp
カラーモード	RGB形式 (CMYK不可)
解像度	72dpiまで
ファイルサイズ	3MBまで

表示画面サイズ

全画面表示の場合



中央分割表示の場合



基本放映パターン

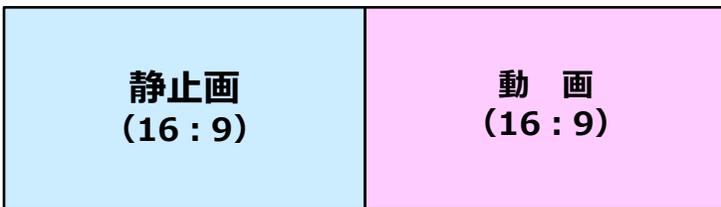
パターン ① 横縦比32:9で作成された動画素材1つを放映可能。



パターン ② 横縦比32:9で作成された静止画素材1つを放映可能。



パターン ③ 横縦比16:9の静止画素材1つと
横縦比16:9の動画素材1つを並べて放映可能



パターン ④ 横縦比16:9の動画素材1つと
横縦比16:9の静止画素材1つを並べて放映可能



NG例

※横縦比16:9の動画・静止画の画面中央表示や、左右の非表示部分に黒帯の表示は不可となります。動画+動画 不可

動 画 or 静 止 画
(16 : 9)

静 止 画
(16 : 9)

動 画

動 画
(16 : 9)

動 画
(16 : 9)

■ 掲出基準

「阪急電鉄広告掲出基準」に加え、大阪駅前地区デジタルサイネージガイドライン運営委員会（以下「ガイドライン運営委員会」という）により策定の「大阪駅前地区におけるデジタルサイネージ設置に関するガイドライン」に基づき審査が行われます。特に以下のビジュアル表現基準、映像効果基準にご注意をお願いします。 ※詳細は、お問合せ下さい。

● ビジュアル表現基準

「阪急電鉄広告掲出基準」に加え、一般広告のビジュアル表現について各号のいずれかに該当するときは、原則としてこれを取り扱わない。

- (1) 情報過多、文字情報が多いもの
- (2) 赤・青・黄などの原色や高彩度の色（けばけばしい色彩）が多用され、かつ景観と調和しないと判断されるもの
- (3) 見る人に著しく暗いイメージを与えるもの
- (4) 道路交通の安全を損なう恐れや注意表示と誤認される可能性があるもの
- (5) 性的表現・暴力的表現・差別的表現がなされていると判断されるもの
- (6) その他、ガイドライン運営委員会が不適切と判断したもの

● 映像効果基準

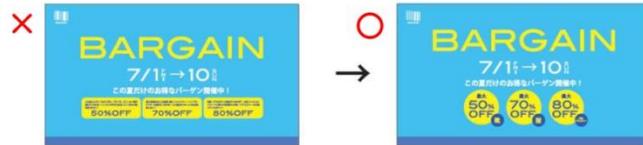
「阪急電鉄広告掲出基準」に加え、映像効果については、以下の要件を満たすものでなければならない。

- (1) 短時間毎に連続して同じ内容を繰り返し、見る人に不快を与えることがないこと
- (2) 視覚的に強い表現等をしないこと
- (3) 映像や光の点滅、特に「鮮やかな赤色」の点滅は使用を避けること
- (4) コントラストの強い画面の反転や急激な場面転換は避けること
- (5) 規則的なパターン模様（縞模様、渦巻き模様、同心円模様など）が、画面の大部分を占めることは避けること
- (6) 不安定な“揺れる映像”については、安易な使用を行ってはならない。
- (7) いわゆるサブリミナル技法のように通常の状態では知覚、識別できない表現技法で潜在意識に働きかけることをしてはならない

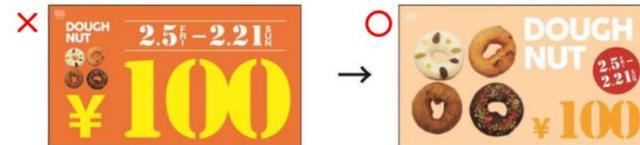
ビジュアル表現基準の具体例

※原則、表現内容は審査による判断となりますが、以下の具体例を目安して下さい。

(1) 文字情報が多いものは避けてください



(4) 価格訴求の強いものは避けてください



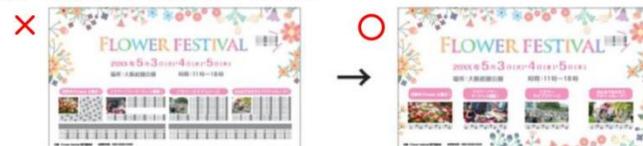
(2) 高彩度の色の多用は避けてください



(5) 白色部分が多いものは避けてください



(3) 情報過多なものは避けてください



(6) デザイン性がないものは避けてください

